

令和7年度  
高校生との意見交流会報告書

広島県立三次青陵高等学校

三次市議会  
広報広聴常任委員会

## 令和7年度 高校生との意見交流会

### 《目的》

- ◆三次市議会議員と高校生が直接対話する機会を通して、互いの考えや立場を理解し合い、意見を交換することを目的とする。高校生が日頃感じている地域や市政に対する思いを自分の言葉で伝えるとともに、市議会議員の考えや経験に触れることで、地域社会の課題や将来について主体的に考える力を育成する。
- ◆一方的に質問を行い、回答を得ることを目的としたものではなく、対話を通じて意見を交わし、考えを深め合う「意見交流」を主軸とする場とする。

### 1 実施日

令和8年1月7日（水）14時20分～15時10分

### 2 参加者

3学年生徒65名，議員22名

### 3 内容

5会場に分かれ、各会場では4グループを目安に意見交流を行う。事前に「市の課題・将来」「若者・高校生と市政」「市議会・意見の届け方」にかかる質問事項を作成されているため、それを基に交流を行う。意見交流終了後には、高校生及び議員にアンケートを実施。

教室	担当議員
322教室	山村，山田，藤井，小田
323教室	重信，宍戸，伊藤，弓掛
324教室	横光，竹田，保実，藤岡
325教室	片岡，國重，鈴木，新田
図書室	月橋，掛田，増田，徳岡，中原，細美

### 4 まとめ

昨年度に引き続き、三次青陵高校3年生と意見交流をおこない、全22名の議員が参加した。今回は事前に3つの項目の質問が準備されており、それらに沿った意見交流が主となった。生徒たちは自分の思いを自分の言葉で語ってくれ、議員にとっても大変有意義な時間となった。これを機会に政治をより身近なこととして感じてもらえる嬉しい。今後も生徒との交流に継続的に取り組んでいきたい。

広島県立三次青陵高等学校 意見交流会  
アンケート結果(令和8年1月7日)

Q1 議員の話は理解できましたか。

A1	①理解できた	50
	②やや理解できた	14
	③やや理解できない	0
	④理解できない	0
	無回答	0
	合計	64

Q2 どのような方法であれば、議会や議員の活動を入手しやすいですか。

A2	方法		*複数回答あり
	ホームページ	14	
	市議会だより	2	
	ケーブルテレビ	4	
	議会報告会	3	
	SNS	46	
	その他	2	

その他	請願書等 地域の広報誌
-----	----------------

Q3 今後、どのような三次市にしていきたい(なれば良い)と思いますか。

A3 別紙あり

Q4 これからの議会や議員に期待することはなにかありますか。

A4 別紙あり

Q5 その他、自由に感想をご記入ください。

A5 別紙あり

**Q1 議員の話は理解できましたか。【原文ママ掲載】**

**【選択した理由】**

**① 選択理由**

知りたいと思っていたことを、詳しく話してくれたから  
市政のハードルは高くないため自分の思ったことを意見すべきと感じた  
議員の仕事について知れたし、わかりやすく説明してくれたから  
議員の方が分かりやすく説明され、理解することができた  
とてもわかりやすく話してくれたのでうれしかった。  
若い人が何か少しでも変えないと何も変わらないということが分かった。  
質問したことだけでなくそれに関わる色々なことまで聞くことが出来、良かったから。  
市政や今後のことについて、お話ができたのでとてもためになった。  
自分らにもわかりやすい言葉を使ってくださったから  
みよしを離れることの意味をよく理解することができた  
質問したことについて詳しく答えていただけただからです  
議員の方がわかりやすく説明してくれたから  
高校生にも理解できる言葉を使ってくださったり、例えを出したり将来に絡めて話して下さった  
丁寧に聞いた質問を返してくれたので理解しやすかったです。  
詳しく説明していただいて、納得できたから  
とてもわかりやすい説明だったから  
自分が思っていたよりも問題視されている子との理由や対策が意外と単純だったので理解しや  
追加の質問にも丁寧に答えてくださったり、実際の体験の話もわかりやすく説明して下さった  
議員さんがとてもかみくだいて説明して下さったのでわかりやすかったです。  
今の少子化だったり自分たちの声の届け方について身近な事だったりとひもずけて話されてて  
身近なことを例に挙げて話を進めていただいたのでとてもわかりやすかった  
たくさん質問ができたから  
色々な話ができとても議員の大変さを知ることができたから  
実際にあったことを例にして説明して下さったためイメージやすかったためわかりやすかつ  
実際今はどのような政策を考えているのか、どのようなことを考えているのか、パンフレットを  
質問したことに対して、丁寧に答えて下さって、どのような取り組みをしているかがわかりやす  
議員さんの考えていることが町のことをちゃんと考えてくださっていたのでとてもよく理解でき  
普段話を聞くことが出来ないのでもって勉強になりました。議員さんも三次を良くしようとい  
考えてくれているのがよくわかりました。  
細美さんがわかりやすく、質問に対して答えて下さったので、よく理解することができた。  
原因を具体的に話してくれた。  
三次市や近隣の市の人口が大きく影響していることがわかりました。  
身近な話が多くて、聞きやすかった  
どのようなことをしているかわかりました  
わかりやすく説明してくれた  
三次の課題などに沿ってわかりやすく話して下さったから。  
質問に対してよい回答を得ることができたから  
話しやすくて優しくて良かった  
正確な内容を知れたから  
実際に、市政を動かされている方々の生の意見をきくことができたから  
日本や三次を守るために農業が大切ということがわかった  
しっかりした答えが返ってきて自分の考えがわかりました  
質問した内容に対してシンプルに回答を教えてもらい、その後に具体的な話をしてもらったから  
今回の質問にも的確に返して下さったので、とてもわかりやすかったです。  
ゆっくり一つずつ説明をしてくれたから  
質問に対して、丁寧に話して下さったから  
三次市の課題についてしっかり理解できた。  
三次だったら庄原だったらなどの例を出して下さりわかりやすかったです。  
わかりやすいように教えてくれた  
三次市についての話が多く、共感できたことがあったから

**② 選択理由**

市議会議員さんたちで三次のさまざまな役割を決めていることが分かったから  
いろいろと納得できることとかがいっぱいあったから。  
少し難しい場面もありましたが、わかりやすく答えて下さったので理解できました。

議員の人にもわからないことはあるので質問の内容以外にもいろいろ質問させてもらいました。
難しい話が多いのかなと思っていましたが、議長さんがわかりやすく伝えたり、教えてくれたりして
むずかしい話だった。
少し難しかったが分かったから。
日本語むずすぎてついていけなかった
たくさん話せたから
地域の農家の代表として農業と生活の実態を知ることが出来たから
自分たちから積極的に行って意見を言った方がいいんだなと思いました。
三次市の一般質問がどのように反映されているのか理解することができた
少子化について考えていることや、行いたい政策など聞くことができた
少子高齢化で高齢者は悪いとは思っていないが、少子は良いとは思っていないので早めに結婚
した方がいいと言っていたことが印象に残ったから

## Q1 議員の話は理解できましたか。【原文ママ掲載】

【選択した理由】

### ① 選択理由

知りたいと思っていたことを、詳しく話してくれたから
市政のハードルは高くないため自分の思ったことを意見すべきと感じた
議員の仕事について知れたし、わかりやすく説明してくれたから
議員の方が分かりやすく説明され、理解することができた
とてもわかりやすく話してくれたのでうれしかった。
若い人が何か少しでも変えないと何も変わらないということが分かった。
質問したことだけでなくそれに関わる色々なことまで聞くことが出来、良かったから。
市政や今後のことについて、お話ができただけでとてもためになった。
自分らにもわかりやすい言葉を使ってくださったから
みよしを離れることの原因をよく理解することができた
質問したことについて詳しく答えていただけただけからです
議員の方がわかりやすく説明してくれたから
高校生にも理解できる言葉を使ってくださったり、例えを出したり将来に絡めて話して下さったのでわかりやすかったから
丁寧に聞いた質問を返してくれたので理解しやすかったです。
詳しく説明していただいて、納得できたから
とてもわかりやすい説明だったから
自分が思っていたよりも問題視されている子との理由や対策が意外と単純だったので理解しやすかったです。
追加の質問にも丁寧に答えてくださったり、実際の体験の話もわかりやすく説明して下さったからです。
議員さんがとてもかみくだいて説明してくださったのでわかりやすかったです。
今の少子化だったり自分たちの声の届け方について身近な事だったりとひもずけて話されててわかりやすかった
身近なことを例に挙げて話を進めていただいたのでとてもわかりやすかった
たくさん質問ができたから
色々な話ができとても議員の大変さを知ることができたから
実際にあったことを例にして説明して下さったためイメージしやすかったためわかりやすかったです。
実際今はどのような政策を考えているのか、どのようなことを考えているのか、パンフレットを用いて説明して下さったから。
質問したことに対して、丁寧に答えて下さって、どのような取り組みをしているかがわかりやすかったから。
議員さんの考えていることが町のことをちゃんと考えてくださっていたのでとてもよく理解できました。
普段話を聞くことが出来ないのでも勉強になりました。議員さんも三次を良くしようという考えてくれているのがよくわかりました。
細美さんがわかりやすく、質問に対して答えてくださったので、よく理解することができた。
原因を具体的に話してくれた。
三次市や近隣の市の人口が大きく影響していることがわかりました。
身近な話が多くて、聞きやすかった
どのようなことをしているかわかりました
わかりやすく説明してくれた
三次の課題などに沿ってわかりやすく話してくださったから。
質問に対してよい回答を得ることができたから
話しやすく優しくて良かった
正確な内容を知れたから
実際に、市政を動かされている方々の生の意見をきくことができたから
日本や三次を守るために農業が大切ということがわかった
しっかりした答えが返ってきて自分の考えがわかりました
質問した内容に対してシンプルに回答を教えてもらい、その後に具体的な話をしてもらったから
今回の質問にも的確に返して下さったので、とてもわかりやすかったです。
ゆっくり一つずつ説明してくれたから

質問に対して、丁寧に話してくださったから
三次市の課題についてしっかり理解できた。
三次だったら庄原だったらなどの例を出してくださりわかりやすかったです。
分かりやすいように教えてくれた
三次市についての話が多く、共感できたことがあったから
<b>② 選択理由</b>
市議会議員さんたちで三次のさまざまな役割を決めていることが分かったから
いろいろと納得できることとかがいっぱいあったから。
少し難しい場面もありましたが、わかりやすく答えてくださったので理解できました。
議員の人にもわからないことはあるので質問の内容以外にもいろいろ質問させてもらいました。
難しい話が多いのかなと思っていましたが、議長さんがわかりやすく伝えたり、教えてくれたりしたのでスムーズに話すことができた
むずかしい話だった。
少し難しかったが分かったから。
日本語むずすぎてついていけなかった
たくさん話せたから
地域の農家の代表として農業と生活の実態を知ることが出来たから
自分たちから積極的に行って意見を言った方がいいんだなと思いました。
三次市の一般質問がどのように反映されているのか理解することができた
少子化について考えていることや、行いたい政策など聞くことができた
少子高齢化で高齢者は悪いとは思っていないが、少子は良いとは思っていないので早めに結婚した方がいいと言っていたことが印象に残ったから

Q3 今後、どのような三次市にしていきたい(なれば良い)と思いますか。【原文ママ掲載】

一度、県外へ出た人が帰ってこれるような町
議員だけでなく全員で作っていく町、帰ってきたいと思える町
三次に住んでいる人が暮らしやすい、色んな人が訪れる三次になってほしいです。
人口が増えてにぎやかになればよい。
みんなが支え合っていける町
若い人が自由に三次の町について発言できる場があれば良いと思った。
人口が増え歴史などを大切に守っているそんな三次になれば良いと思います。
若い人がいつてもふるさとに帰ってこれるようなところになってほしい。
人を増やす
難しいと思うが三次を出て行っている人が帰ってきてほしい
若者が多く残る三次市にしていきたい
地元だと思える、お店を多くしてにぎわう場所を多くしたいと思いました。
施設を増やして若い人がもっと楽しめるようになって欲しい。
人とのつながりを大事にしながらも、発展していきずっと進化し続けられる三次市
バランスよく暮らせる三次市になればよいと思います。
みんながすみやすい町
若者が多くみられるようになってほしい
もっといろんな人に三次市の良さを知ってもらい、住みやすい場所になればいいなと思いました。
若者が多く、にぎわっているような町になれば嬉しいです。
活気あふれる
三次市の人口が減りすぎないようにすれば良いと思う。
大人になっても離れていかず、若者も楽しめる町
全世代が気軽に話し合いをすることができるようになるとより良い三次市にできると思った。
楽しく暮らせるような街
三次から離れた人や三次に住んだことのない人が三次にきて住みたいと思えるような町になればいいと思った。
今後は高校生などが進んで選挙参加したり、すごしやすい三次市になってほしいです
行通方法からイベントの面で住みやすく楽しめる三次市にしていきたい。
若者が将来的に帰って来たいと思えるような町になればいいなと思います。
子育てしやすい町だからと県外の人たちがたくさん来てくれたらいい
多くの人が戻って来たいと思う三次市にしていきたいと思います。住みやすい環境を作ることで戻ってきてくれるいい町になると思います。
若者が集まって住民の誰もが住みやすいと思えるような三次市になればいいなと思った。
活気あふれるような市になればいいなと思います。
やりたい職業が地元でできる環境
家賃が安くなってほしい
戻ってきたいと思える三次
だんだんと三次の人口が減ってきているので、少しでもいいですが、若い人が増えたらいいなと思います。
豊かな町、すみやすい
人がたくさんあつまる三次市
今のままが続けはいいな
すみやすいところになればいいなとおもいます
若者が三次に集まるようになるのか
子どもが楽しく暮らせる
くらしやすい
若者が増え絶対数が満足して、笑える三次市にしていきたい
意見が反映されやすいようになって欲しい
知名度が高く誰に聞いても三次を知っているとされるようになって欲しい
盛り上がるとる三次
人がいっぱい来る町
人と人とのつながりが深い町になれば良いと思う
若い人達も増えて、三次市が活性化していけばいいなと思った。
雇用と賃金を増やし、子育てしやすい町になってほしい
若者が増えていけばいい
住みやすく安全に暮らせる町
若者がよりつきやすいところになればいいなと思いました。
若者は減っても戻ってくるような市
より元気な三次になって行けばよいと思う

若いだけでなく、高齢の方も活躍できる場所にしてほしい
人口が増えればよかった。
若い人が自分から要望を伝え若い人やすべての年齢の人が暮らしやすくなると思いました。
活気が良いところになればいいと思います。
今よりも人口を増やしお金を循環させ、学生、若者が三次で楽しめるようなところをしたい
高校生がもっと遊べるようなところがあればよいと思う。
みんなが幸せにいきいきと暮らしていけるようになればいいと思う

Q4 これから議会や議員に期待することはなにかありますか。【原文ママ掲載】

より良い町になるよう頑張してほしい
議会や議員の活動を広めていく。子どもたちとの関わりを増やす
若い家族や若者の暮らしやすさに注目してくれるか。
市民の声を聞いてくれること
みんなに優しい人達になってほしい
今は年配の男性が多いから、20代などの議員を増やしていけばよい。
まずは人口減少をとめて増加していくことに期待します。
色々な政策があり、とても今後の三次市をしっかりと考えてくれていたのでよかった。
人を増やすための努力
水族館、動物園の設置
たくさんの良い政策を今後してほしいなと思った
三次に来る方がいい町だなと思うような環境を増やすこと。
若者向けの政策を増やして欲しい。
議会に関する情報が欲しい
地域の人の意見を聞いて頑張してほしい
若者でも市政に関わることができる町づくり
三次市をどうよくするのか
若者は自ら参加することを拒んでいると思うので、参加しやすい環境を作っていけたら自分の意見も通りそうだなと思いました。
三次市をよりよくもっとみりよくある所になることを期待しています。
若い人が満足できるような町づくり
意見をより政策に取り入れやすい環境作り。
若者が出ていきにくいまちづくり
これからも市のために色々話し合ってもらいたい
これからは、議会だよりなどのほかに政治が身近に感じられるものを増やして、若年層の興味をひくもの考えてほしいです
芸備線の改善や行通機械を増やすこと
三次の課題をひとつでも多く解決し、三次が住みやすい町になるようにしていくこと。
三次市をよりよい町にさらにして欲しいと思います。
多くの方が戻ってきてくれるように少しでも安く家を建てれるようにしたり、子育てをすることが出来るいい環境を作ってもらいたいと期待しています。
より若者の意見が反映されるような議会になってほしい
自分が持っている意志とかを貫いて実現してほしいです。
若い人が入ってほしい
私自身が一度三次から出るため、帰ってきたとき少しでも何か変化があったらいいなと思います。
議長さんの話をきいて、いろんな改革をうちだしていることを知って、自分がしらないことがたくさんありました
大学をつくってほしい
僕たちの意見をもっと反映してほしい。
いい町にしてほしいです
これからの三次に期待したい
これからの三次市はどのようなになるのか
お金ください
若者の意見を考えて、三次市のための行動をしていきたい。
住みやすい市になること
市民の意見をこれからも大切にしてほしい
とくにない
ゲームセンターを作る
学生をまきこみながら多くの人と市を作っていく議会であって欲しい
広島や三次をより良い街にしてほしい
自分たちの意見を積極的に市議会に出してほしい
若者も市政などに参加していきやすくなることを期待しています
どのような人でもより良く過ごせるようになることに期待
三次の問題について取り組んで欲しい
住みやすいような市にほしい 物価を安くしてほしい
もっと市民が楽しくなるようなものがあればよいと思う。(祭りや体が動かせる場所など)
住民が生活で困っていることの相談を受ける

Q5 その他自由に感想をご記入ください。【原文ママ掲載】

三次市の課題に対して、納得できるような考えをお持ちになっていたのも、やっぱりすごいなと思いました

意見交換を通して、三次から人が離れないためや、活性化するための活動をしていることが知れたため、これからも政治に興味を持って過ごしたいと感じた。

市についてもっと深く知ろうと思いました。

おかたいイメージだったけどすごく優しく話やすかったので議員さんの印象が変わりました。とても楽しかったです。

今の状態だと、三次のうかいなどの伝統ができないかもしれないから、三次の環境には自分も考えていきたいと思う。

色々な話を聞くことができ、すごくためになったと思います。これからは三次市が良い街になるように期待しています。ありがとうございました。

地元について知っておくとよいことが就職先でもあったのでとてもためになった

分かりやすい説明ありがとうございました。

議員の方々がなにをされているかということが知れていい機会になりました。

高校に30万円出されていたり、三次の高校3年生までは医療費が500円という三次市だけの切れられていることがありとても印象にのこりました

議員の方が優しく話やすかったです。ありがとうございました。

実際話してみても高校生の目線で一緒に物事を考えてくださる人で、なごやかな雰囲気でも話が進んだので安心し、議員の方のイメージも変わりました。現実味がありつつも夢のある話をしてくださったり、穏やかな雰囲気にして下さったので楽しい時間でした。

今の三次市の問題、どうなればよいのか知りたいことを聞けたので良かったです。

始めて議員さんとお話して三次市がもっといい場所になればいいなと思いました。

丁寧に議会や現状の三次について教えてくださり、ありがとうございました。

とてもわかりやすい説明で三次市について話すことができよかったです。

思ったより自分たちと市議会って身近なものなんだと感ずることができました。

いろいろとためになる事が多かったのでこれからは生かそうと思った。

今回議員さんと意見交流ができて、自分の意見を伝えることが本当に大切だと分かった。

今回の意見交流会をしてみても、身近に市政が関わっているものや行事が多く、少し興味がわきました。また三次で実際にあったことを例として話されていたので分かりやすかったです。

三次市などから人が減っていくのは、三次市のことを良く知らないからと言っていたので知っていきたいです。

話を聞いて三次議員がどのような取り組みをし、三次をよくしていこうと思っているかが知れてよかったです。

議員さんがおっしゃった、若いうちに何度も失敗して下さいと言われ、してみたいことをしたくなりました。ありがとうございました。と思いました。

私は、大学に出て三次市に戻って来たいと思っているので少しでも活気がある三次市になって欲しいと思っています。三次市で18年間済ませてもらったので少しでも貢献できるように頑張りたいと思っています。

故郷である三次市がこれからどうなっていくか少し楽しみだなと感じた。進学した後も、少し三次市に戻って見てもいいかもしれないと感じた。

三次市公式のLINEがあることをはじめて知ったので、今回の意見交換会をやってよかったと思いました。

三次市のために考え、実行してくださっていることが分かりました。

三次がどのような困難に立ちどまっているのか、改めて知ったこともあり、知らないこともたくさんあったので、良い時間をすることができました。

自分自身三次について考えていきたいです。

住みやすいまちやいいまちにできるようにがんばっていきましょう

話が分かりやすく楽しかったです。

とても良い話が聞けた

良い時間でした。ありがとうございました。

課題などについて自分達も参加しやすいと聞いて身近に感じ、自分も三次市の一員だと再認識できた。

三次の人口が4万と、以外に少ないことがわかり、もっと人口増えたらいいなと思った。

大人の話もきけた

自分から

いい時間になりました。自分の考えが少し変わりました。

意見交流会という場があれば、意見とか言いやすかったなと思いました。

フラットに話をしてくれて楽しかったです。

今回の意見交流会出、私の議会や議員さんに対しての考え方が良い方で変わりました。

意外だったことや、やはりそうなのかなど、新しい気づきなどができて面白かった。

三次市の政策について知ることが出来たのでよかった
自分の意見などは、伝えることが大切だと分かりました。
話していると面白い人だったので、気軽に質問などができてよかったです。
議員さんは話を広げるのが上手で地域について理解できたのでよかった

## 広島県立三次青陵高等学校 意見交流会 議員アンケート

### 意見交流会の感想

テーマも適切で、高校生からの意見も積極的に述べてくれました。高校生が日頃から感じている本市の課題や市政に対する思いを自分の言葉で述べてもらいました。進学でいったん三次市を離れるが、将来的には三次市で就職したいという生徒さんがいました。引き続きこのような意見交流会は後輩にも続けてほしいと感想を言われました。

●高校卒業後、三次市を離れる若者が多いが何が原因か→自分達が進みたい大学が無いこと、働ける企業が少ないこと、将来できれば三次市に帰ってきたいとの回答でした。

●これまでに高校生の意見が市政に反映されたことは→これまでにJR芸備線継続に向けての提案が少し考案されかけ。高校生の意見がもっと反映されれば、選挙に行く生徒も増えるのではとの回答でした。

●市民ポストを利用、市議への問いかけ→今後機会があれば相談などしたいと回答があった。

3人とも将来の夢に向けての考えを持っておられ、是非帰って来られるような町にしたいと感じた。

事前に提示されていた質問事項は、三次市にとって重要な課題であると思うが、果たして生徒が考えた質問であったのか疑問が残った。逆にどう思うのか聞いてみたが考えは示されず、終始元気のない印象であった。交流自体に重きを置き、ざくばらんに話すのであれば、日彰館高校の方式が良かった。質問項目に対して回答するだけで、ほぼ時間を費やしてしまい、生徒側の発言数が少なくなっていました。

今回意見交換させていただいた3人からは、三次市の課題でもある少子化の問題、高校生と市議会との関わり方など話がありました。一方的に話をしないように、できるだけ共有できるように進めました。3人共に県内に進学で、2人はいずれ三次に帰って来るそうで将来の夢もしっかり持っていました。地元に対しての愛情もすごく感じさせていただきました。

3人の生徒の皆さんから事前の質問をお伺いしました。それをもとに意見交換をしましたが、その後、緊張感もほぐれて話が弾んできました。遠慮もあるし緊張感もあるので私が主導して意見交換をしました。以前、市外の高校生から質問された質問で「若い人は夢を持たないといけないのか」私の実体験から生徒の皆さんに投げ掛けてみました。いろいろな考えを言ってくれましたが、より話ができたと感じています。後半は生徒から予定していない質問が出るなど、双方向の意見交換ができたと思います。主権者教育として成果があったかどうかはわかりませんが、議員と話をしたことを新鮮に感じたかもしれません。

大学進学、市内・県内就職という3名の男子だった。市の人口減や若者が出て行く事、遊ぶ場が無い等の問題を提起して話をしました。どうしてなのか、どうすれば良いのか、受け入れなければいけない事でもある様々な事を話しましたが、終盤は社会に出て行く（三次を出る）時の不安に思っている事に対して相談（アドバイス）をしていた様に思います。私達（市議・行政）は三次を出て行っても良いが、帰って来れるまちづくりをめざしていく！スキルアップして三次に帰ってほしいと締めくくりました。

電気科の3人と話しました。進路はみんな決まっていて電気関係の会社へ2人、専門学校へ1人でした。用意された質問をしてくれたが、3人が地元を離れ1人で学校や会社に勤めることのワクワクや心配ごとをもう少し話せたらいいなと思いました。とても素直に話を聞いたり話してくれるので楽しかったです。反面、あまりに素直すぎるのが返って少し心配になりました。社会にこれから出て行くけれど、バイトなどの経験や地域活動などの経験を聞けばよかったかなと思いました。親以外の大人と関わる経験など、社会に触れる経験も少しでもあった方が社会人、学生でもこれから少しでも役に立つのかなと思いました。あまりに素直なので、私の印象だけかもしれませんが。

それぞれ自己紹介の中で進路先を発表していただきました。市外大学への進学，就職するが資格を取る目的で広島市内へ決定、三次看護学校への進学とそれぞれしっかり将来を見据えての進路を決定され、素晴らしいと思いました。しかし将来三次市での定住を考えますかと質問した際、全員から、考えていないとの答え。その理由をそれぞれの私への質問から読み取りました。第一の質問、三次市の課題は何か。という内容で、少子高齢化が最大の問題だと答えました。若者に帰ってほしい、住んでほしいとの思いで、本市においても子育て支援や就業に関するさまざまな支援制度、補助金等仕組みを作っているが、一旦本市から出た若者の多くがUターンしてくれない現状であると説明しました。それに対して生徒からは、三次市には若者が求める社会インフラが少なく、暮らしていく魅力が少ないとの答えがありました。特に現在においても交通網の整備がなく、通学でも不便を感じているとのこと。第二の質問、市政に若者の声が反映されたことがあるか。については環境未来会議等、生徒から委員を募り、政策提言から事業化と進めていると答えました。市議会としても生徒との意見交換会の中で提言すべきものを抽出して、執行部へ提言できる仕組みを作る途中ですとも答えました。第三の質問、高校生の地域活動への参加や、声を届けるにはどうすべきかについては、積極的に市、地域の情報をまずは取りに行ってみようという事を提案しました。市広報紙や議会広報紙についても各家庭ではほとんど読まれず、まず目にした事もないとの答えが返ってきました。またSNSは自分の興味があることだけ取りに行く手段であり、そちらでも情報を見ていないとの答え。広報紙等は学校へ配布してもらえれば目にする事ができますとのこと。「議員と話そう」については全く高校生に周知されておらず、参加できるよう周知してほしいとの答えもいただきました。都市部の利便性とモノにあふれた生活より地方の良さをもっとアピールするインパクトある周知の方法と、今あるツールをいかに発信するか考えさせられる意見交換でした。

男子生徒さん3名と意見交換をさせていただきました。

A-2 若い人が高校卒業後に三次を離れる理由について

高校生の皆さんが進学や就職で転出することは、選択肢を広げる上ではとても良いことと考える。これから三次に帰ってきたいと思える地域にするには、就職先の確保やインフラ整備は本市の課題。

B-3 高校生の立場で、市政に関わる方法について

高校生の意見はこれまでも、意見交換会で市議会としても参考にしている。今後も継続を願いたい。ホームページやLINEなどで気軽に意見を言ってもらいたいと話した。

C-3 高校生の声を市議に届ける方法について

高校生の皆さんが意見を共有して課題と感ずることを請願・陳情することは素晴らしい。単独的な考えではなく、多くの意見の中でまとめられることが望ましい。SNSやパブコメなどのアンケートにも積極的に取り組んでいただきたいと話しました。

●高校生などの若い方々も、市政に対し、様々な考えや意見を持っていることが分かった。その考えや意見をどのように受け取り、市政に反映させるかが課題であると思った。

●三次市に抱いているイメージや三次市の改善点などを高校生の視点として知ることができ、意見交換ができてよかった。

●高校生が持っている率直な疑問を聞くことができ、議会の役割や求められている姿の参考になった。

●事前に質問内容が分かっていたので、大変良かった。

私は、3名の女子学生と対話をしました。全員がしっかりと目を見て、将来の不安や期待を真摯に語る姿が非常に印象的でした。就職を控えた2名と、進学し一人暮らしを始める1名。それぞれの岐路に立つ彼女たちの悩みにアドバイスを送りつつ、心を通わせる楽しいひとときを過ごしました。対話を通じて、JR通学の不便さといった切実な課題や、政治と学生の距離の遠さを改めて痛感しています。若者がもっと政治を身近に感じ、希望を持てるよう、学校教育のあり方から見直していく必要性を強く感じました。「もっと時間が欲しい」と思えるほど有意義な交流でしたが、この対話で得た気づきを、今後の具体的な政策に生かしてまいります。

今回の三次青陵高校3年生との意見交換会は現状、高3の考え方、思考他を良く聞くことができ、大変有意義であった。少子化の問題について3人の生徒に逆質問して本音を聞いた。経済的余力がないから出産が少ないとの考えも聞いた。こちらからは晩婚化が根本原因ではないかとの問いかけに賛同していただいた。これからの議員活動に生かしていきたい。

女子高校生3人との意見交換を行いました。進学が1人（市外）、就職が2人（市内1人、市外1人）高校生から「①三次市の人口減少、少子高齢化の課題について」、「②高校生や若者の意見が市政に反映されているか」、「③高校生の声をどのように届けられるか」など、質問・意見交換を行いました。

①〔高校生から〕

教育環境・子育ての充実、ショッピングモールや娯楽施設など、生活しやすい環境をめざすことが重要ではないか。

〔議員から〕

少子高齢化は全国的な課題であるが、いかに減少幅を圧縮するかが問われている。住んでよかった三次、選ばれる三次市となるよう取り組む必要がある。

②〔高校生から〕

市政を身近に感じていない。また、政治はわかりにくい、投票しても市政は変わらないという意識が若者にあると思う。政治は難しいと思っている。

〔議員から〕

投票率の低下、市民と議員の壁は大きな課題だと思う。わかりやすい言葉や親近感を感じてもらえるよう取り組んでいきたい。

③〔高校生から〕

日々感じていることを市政へどう届けたら良いか、環境会議のような集まりも終わった後に知ることが多い。

〔議員から〕

ある高校生が『ラウンドワン』を誘致するため、市民を巻き込んで署名行動を行った。様々な課題を解決するには、一人ではなく、多くの賛同者が必要。また、会議や集会などの情報が周知されていないことは課題として捉えている。

※三次青陵高校生の案が「市議会だより」のロゴとなったことを伝え、少しだけ議会との関わりを感じていただいた。「政治は身近なものと感じていきたい」、「『議員と話すことが面倒くさい』と思っていたが楽しい時間でした」と言っていただき、嬉しく思いました。

参加された生徒の皆さんはいずれも三次市内の中学校の出身であり、三次市の将来や市政に対して高い関心を持っている様子がうかがえました。生徒の皆さんからは、市議会議員が日頃どのような活動をしているのか分かりにくいこと、また、議会や議員にどのようにアクセスすればよいのか分からないという率直な思いが聞かれました。どのように質問すればよいのか少し戸惑いながらも、非常に真剣な姿勢で質問をしてくれたことが印象に残っています。その中で「意見箱のようなものがあればよいのではないか」という提案もありました。これに対しては、現在でもメールで意見を送ることができることや、各議員にSNSを通じて直接メッセージを送る事が可能であることを紹介しました。あわせて、私自身の経験として、高校生からダイレクトメッセージをもらい、そのやり取りをきっかけに、一緒に市長へプレゼンテーションに行った事例についてもお話ししました。一方で、こうした説明をする中で、議会としても、例えば三次市公式LINEなどを活用し、高校生がより気軽に意見を届けられる仕組みづくりが必要ではないか。また、単に個々の議員の対応に委ねるのではなく、制度として意見を受け止める窓口を整えることの重要性を改めて感じました。

最後に高校生からは、「自分たちのほうから、市政や議会にもっと発言や発信をしていかなければならない」、「市議会議員は思っていたより身近な存在だと感じた」といった前向きな感想が聞かれ、意義のある時間であったと感じています。今回の取組は、議会の広報・広聴活動の一環であると同時に、高校生にとっての主権者教育の機会でもあります。この経験をきっかけに、市議会に限らず、市政や政治全体に関心を持ち、自ら発言し行動することで社会が変わっていくこと、そして自分たち自身が主権者であるという意識を育んでもらえればと願っています。三次市では、高校生をはじめとする子どもたちが、それぞれの年齢や立場に応じて、まちづくりに参加する権利を持っています。校則などの身近な課題あから、学校の再配置のように「まちの将来」に大きな影響を与える事柄まで、子どもたちが十分に意見を表明し、参加できているのか、改めて問い直す必要があると感じました。今後は、参加できる仕組みや体制づくりを、より丁寧に整えていくことが重要であると考えています。

# 意見交流会（1月7日）

